

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

「箕面体験学習の森」整備事業 ～「オオクワガタの棲(す)める森づくり」植樹祭の開催～

当センターでは、大阪府箕面市にある箕面国有林のエキスポ'90みのお記念の森(エキスポの森)において、「箕面体験学習の森」の整備を進めています。

特に、エキスポの森の展望台周辺で、箕面市内の小学生、幼稚園児、ボランティア、地域住民等の参加により、スギ、ヒノキの人工林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図ることで、かつての箕面の森を再生する「オオクワガタの棲(す)める森づくり」に取り組んでいます。

その一環として、箕面市内の小学生、幼稚園児、ボランティア、地域住民等に、約1年間ドングリから育てていただいたクヌギ、コナラの苗木を山に返す「オオクワガタの棲(す)める森づくり」植樹祭を開催しました。

その1. 小学生及び幼稚園児を対象に植樹祭を開催

3月23日(火)、箕面国有林のエキスポの森において、学校や幼稚園で大切に育てたクヌギ、コナラの苗木を持った、箕面市内の豊川北小学校の卒業生、なか幼稚園・とどろみ幼稚園の園児及び保護者にスタッフ等が加わり、ボランティア団体等の協力を得ながら、総勢180名で212本の植樹をしました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、カミネッコン(再生紙ダンボールから作った紙型枠)の作製、苗木の移し替え、現地への植樹に一生懸命取り組んでいただき、植樹の最後には、自分たちで植えた苗木が大きくなり、オオクワガタなどが飛んでくるような森となることを祈り、手作りの記念標柱を立てました。



カミネッコンの型枠に新聞紙を詰める園児



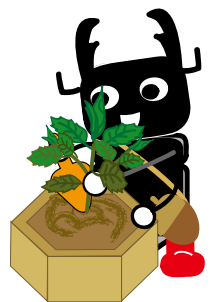
現地に苗木を植樹する小学生



園児の植えた苗木が大きくなることを祈り記念標柱立て



小学校卒業の思い出に記念標柱立て



大きく育てね

その2. 地域住民及びボランティアを対象に植樹祭を開催

5月9日(日)、箕面国有林のエキスポの森において、8ボランティア団体の協力を得て、植樹祭を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、一般の参加者、ボランティア団体、スタッフ等総勢260名の方々に参加していただき、家庭等で育てたクヌギ、コナラの苗木を持ってきていただき、カミネッコンを使って約400本植樹しました。

開会式では、近畿中国森林管理局を代表して計画部長が挨拶し、植樹祭への協力に対するお礼などを述べ、続いて「オオクワガタの棲(す)める森づくり」の取組等の検討を行っている「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会を代表して、服部兵庫県立大学教授から挨拶をしていただき、「本日の植樹祭は、箕面の在来樹種により、里山の再生と生物多様性の向上を目指す市民参加型の森づくり活動で、全国的に見ても画期的な取組であり、今後もこの取組に多くの方のご協力をお願いしたい」と述べられました。

その後、カミネッコンの作製、苗木の移し替え、現地への植樹に熱心に取り組んでいただいたあと、参加した子どもたちによる記念標柱の除幕式及び当局、検討委員会、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の代表4名による記念植樹(エドヒガン、ヤマザクラ、ウワミスザクラ、ムクロジ、ケヤキの苗木を各1本ずつ)を行いました。最後に、当局指導普及課長が植樹祭参加のお礼などを述べ、午前中の行事を終了しました。

午後からは、「オオクワガタの棲(す)める森づくり」のイメージソング「未来の森」を作詞作曲していただいた彩-aya-さんによるミニコンサートを開催し、爽やかな新緑と彩さんのピュアーな声がマッチし、皆さんその歌声に聞き入っていました。

閉会後に、来年度に植樹するクヌギ、コナラの苗木育成をお願いし、41組の方から協力の申込みがありました。



開会式で服部兵庫県立大学教授が挨拶



親子仲良くカミネッコン作り



作ったカミネッコンに苗木を移し替え



大きくなあれと植えた苗木に水やり



子どもたちによる記念標柱の除幕式



彩さんによるミニコンサート

今年度から教員を目指す大学生を対象に森林環境教育セミナーを実施

5月29日(土)、箕面国有林において、京都教育大学社会領域専攻の新入生40名、2回生の4名に参加してもらい、京都大阪森林管理事務所、ボランティア団体の協力を得ながら、森林環境教育セミナーを実施しました。

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の導入を促進することを目的として、平成16年度から箕面市等の小・中学校の教員を対象に実施して参りましたが、今年度は、教員を目指す大学生に森林環境教育の大切さを理解していただくセミナーも実施することとしました。

まず午前中はエキスポの森において、「オオクワガタの棲(す)める森づくり」の取組及びカミネツコンの作り方を説明した後、カミネツコンの作製、苗木の移し替え、現地への植樹を体験していただき、最後に記念標柱を立てました。今回は、綺麗な花が咲くことを祈り、ヤマザクラ、エドヒガンを45本植樹しました。

午後からは勝尾寺園地に会場を移し、間伐体験と昨年8月に当センターで作成した森林環境教育推奨事例集の中から「色あわせ」、「飛ぶタネの模型づくり」、「森クラフト」を実践してもらいました。

間伐体験では、間伐の意義及び安全作業を説明した後、デモンストレーションを行い、一人ひとりが鋸を使い間伐、枝払い、玉切りを体験しました。また、推奨事例集を活用した実践では、童心に戻った気分でそれぞれの事例に取り組んでいただきました。

その後のふりかえりの時間では、参加した学生から、「実際に体験して、木は偉大だと感じた」、「楽しもうという気分で頑張った。色あわせが意外と楽しかった」との感想のほかに、「飛ぶタネを作って飛ばしたのが面白く、先生になったら子どもたちにも教えられる」という意見もあり、将来に向け頼もしさを感じました。

最後に当方から、「今回の体験を忘れず、森林への関心を持って3年間又は4年間勉学に励んでもらい、将来、森林環境教育の実施者として教壇に立っていただくことを期待しています」と挨拶し、セミナーを終了しました。



カミネツコンを作製し苗木を移し替え



現地へ移動し苗木を植樹



ボランティアの指導のもと間伐体験



間伐後、枝払い、玉切りを体験



飛ぶタネの作り方を説明



小枝を使ったモックン作りを体験



アジサイ

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029 URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

